

7 がんセンター



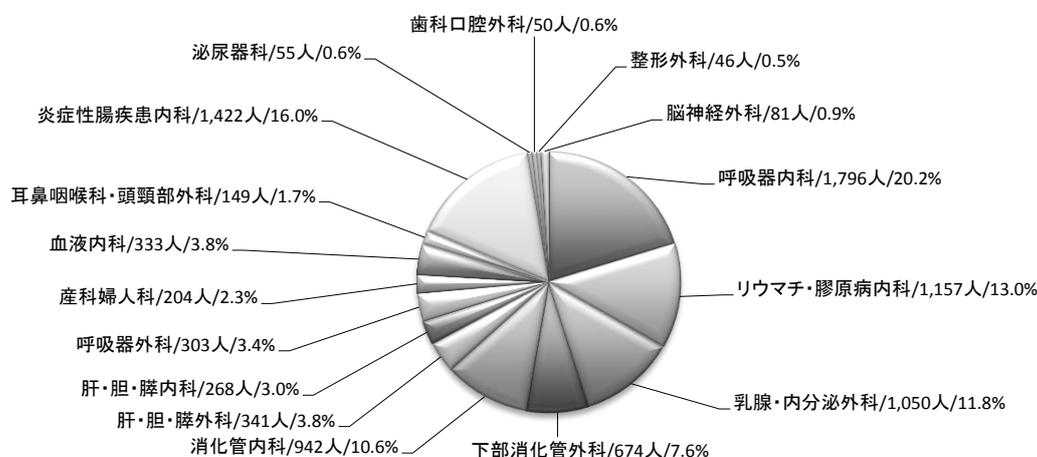
がんセンターの主な役割は、地域がん診療連携拠点病院の要件充足に向けた活動と外来化学療法室の効率的な運営である。当院におけるがんによる入院患者数は26年度4,039件、27年度4,491件、28年度4,441件である。26年度は診療報酬の改定に伴い、これまで外来化学療法加算が算定可能であったホルモン療法などの皮下注射・筋肉注射が算定できなくなった影響で外来化学療法室年間利用者延数は6,278名と一時減少したが、27年度からレミケードなどの生物学的製剤投与の患者さんを積極的に受け入れ、さらに27年度から整形外科、28年度から神経内科の利用者が加わり、28年度の外來化学療法室利用者数は8,894件と28年度年間目標8,000件を達成した。診療科別では、呼吸器内科、炎症性腸疾患内科、リウマチ・膠原病内科、乳腺・内分泌外科、消化管内科、下部消化管外科の比率が多い傾向にあったが、今年度は多くの診療科において前年度に比べて利用者数の増加がみられた。また、外来化学療法室の効率的運用のため、28年度からは外来化学療法利用者・レジメン審査合同会議を毎月1回開催している。化学療法レジメンに関しては、28年度に承認・登録された新規レジメン数は37件、28年度現在の登録レジメン総数は392件であり、レジメン審査委員会にてエビデンスに基づいた迅速かつ適切な審査を行っている。院内のがん診療に対する啓蒙活動として、医師やメディカルスタッフを対象に年間を通してがんセンター主催の講演会や勉強会を開催している。がん相談支援センター・がん診療支援室では、がん患者さんやそのご家族からの医療や生活に関するご相談に対して、看護師やソーシャルワーカーが対面相談1,254件、電話相談637件にて適切に対応し、がん診療のサポートを行っている。

7-1 年度別外来化学療法室利用者数

(人)

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度 構成比率(%)
血液内科	98	217	156	267	333	3.7
リウマチ・膠原病内科	938	939	971	1,111	1,157	13.0
肝・胆・膵内科	325	344	339	235	268	3.0
呼吸器内科	1,215	1,220	1,393	1,339	1,796	20.2
消化管内科	601	693	619	946	942	10.6
炎症性腸疾患内科	-	-	88	974	1,422	16.0
神経内科	-	-	-	-	23	0.3
肝・胆・膵外科	991	557	522	569	341	3.8
上部消化管外科		22	9			
下部消化管外科	786	815	754	720	674	7.6
乳腺・内分泌外科	1,795	1,744	812	969	1,050	11.8
呼吸器外科	241	210	271	193	303	3.4
整形外科	-	-	-	44	46	0.5
脳神経外科	6	12		40	81	0.9
皮膚科	20	14				
泌尿器科	762	808	15	21	55	0.6
産科婦人科	191	146	179	156	204	2.3
耳鼻咽喉科・頭頸部外科		29	138	165	149	1.7
歯科口腔外科	3	3	12	51	50	0.6
合計	7,972	7,773	6,278	7,800	8,894	100.0

7-2 28年度診療科別外来化学療法室利用者の構成比率(人) (合計8,894人)



7-3 年度別がん相談支援センターがん診療支援室の相談件数

(件)

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度 構成比率(%)
対面相談	533	789	1,201	913	1,254	66.3
電話相談	178	478	507	521	637	33.7
合計	711	1,267	1,708	1,434	1,891	100.0